

学校経営方針

西尾市立鶴城中学校

校訓

和とがんばり

1 教育目標

豊かな人間性の育成

－ 「確かな学力・豊かな心・健やかな体」を備えた生徒の育成－

校訓「和とがんばり」の教育を基盤として、確かな学力をもち、人間性豊かで、心身ともにたくましく、自ら考え、正しく判断し、実践力のある生徒の育成に努めます。

2 令和6年度 スローガン

ポジティブ鶴中 笑顔と対話でつながろう

－ 生徒と教師が、ともに育つ学校 －

前向きに、自ら取り組む姿勢を基に、笑顔と対話で生徒同士、教師同士、生徒と教師がつながる、心豊かな学校生活の実現を目指します。生徒は、授業や生徒会活動、行事、部活動などに取り組んで、社会で生きていくために必要な力（問題解決能力、地道に努力する力、コミュニケーション能力、思いやりの心など）を身に付けていきます。教師は、日々の教育活動に真摯に取り組み、人間力、実践力を高めていきます。

3 本年度の重点努力目標

(1)「はじめに子どもありき」

生徒理解によるどの子も居場所・活躍する場のある学校づくり

- ・学級活動の充実による、個々のよさを伸ばし、認め合い、互いに思いやれる学級づくり。
- ・生徒会・委員会活動、ボランティア活動の充実による、生徒の自己肯定感の向上。
- ・学習規律・学習習慣の確立し、生徒主体の「できた」「わかった」の実感がもてる授業づくり。

(2)「教育は人なり」

教育への情熱を燃やし、チームで補い合える教師集団の形成

- ・問題解決型の探究、話し合う道徳の授業など、今日的な必要に応える授業の実践。
- ・教師同士が高め合うなかで、授業力、指導技術（ICTを含む）の向上を図る。

(3)「家庭で躰けて、学校で教え、地域で育てる」

家庭（保護者）や地域とのより深い連携による信頼される学校づくり

- ・地域の「人・もの・こと」との交流や体験活動による、郷土を愛する子の育成。
- ・学校の情報を、地域、家庭に伝えるブログ更新の活発化。
- ・家庭や地域と連携しての、健康への意識向上、心の教育や命を大切にする教育の推進。

(4)「受け継ぐ伝統と創る伝統」

特色ある学校づくりのさらなる進化

- ・生徒会活動を活性化させることで、鶴中四大文化が生徒の生活の中に根付くように取り組む。
- ・儀式、行事について、生徒にとって必要かどうか、見直しが適切かどうかを検討し、試行する。
- ・部活動について、勝ち負けにこだわり過ぎず、より効果的・効率的な在り方を探る。
- ・時短の工夫を進める。ICT活用で教材準備、採点等の合理化。校内文書の簡略化。